

「高齢者福祉研究会」の活動状況について

自治体では2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて動き始めています。地域包括ケアシステムは、自治体が地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要であることから、当研究所では、2017年度から「高齢者福祉研究会」（主査：横山純一・北海学園大学教授）を設置し、調査・研究を行っています。

本研究会の2017～22年度の活動は以下のとおりです。

【2017年度】

（１） 第1回研究会

- 日 時 2017年7月13日（木）
- 会 場 北海道自治労会館 3F 第1会議室
- 内 容
講演「地域包括ケアと自治体」
講師：横山純一 氏（北海学園大学法学部教授／当研究所理事）

（２） 第2回研究会

- 日 時 2017年11月28日（火）
- 会 場 北海道自治労会館 4F 第5会議室
- 内 容
講演「地域で安心して老いるために」
講師：岩渕雅子 氏（釧路地区障害老人を支える会会長）

→ 本研究会の記録は、所報2018年4月号（第591号）に掲載。
岩渕雅子「地域で安心して老いるためにーたんぼぼの会の取り組みから」

（３） 第3回研究会

- 日 時 2018年3月20日（火）
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
 - ・ 問題提起「在宅福祉と地域包括ケアをどう展望するのか」
講師：横山純一 氏（北海学園大学法学部教授／当研究所理事）

- ・ 講演「地域包括ケアの研究サーベイと地域ケア会議の現状」
講師：藤井智子 氏（旭川医科大学看護学科教授）

→ 本研究会の記録は、所報2018年6月号（第593号）に掲載。
藤井智子「地域包括ケアの研究サーベイと地域ケア会議の現状」

【2018年度】

（1） 第4回研究会（北海道医療等関連労働組合連絡協議会の学習会）

- 日 時 2018年12月8日（土）
- 会 場 北海道自治労会館 3F 中ホール
- 内 容
講演「地域包括ケアシステムに向けて ― 認知症初期集中支援チームの活動を中心に」
講師：内海久美子 氏（砂川市立病院副院長・認知症疾患センター長）

→ 本研究会の記録は、所報2019年2月号（第601号）に掲載。
内海久美子「地域包括ケアシステムに向けて―認知症初期集中支援チームの活動を中心に」

【2019年度】

（1） 第5回研究会

- 日 時 2019年9月2日（月）
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室
- 内 容
報告「委託型地域包括支援センターの現状と課題―苫小牧市を例に―」
報告者：浅野 豊 氏（苫小牧市中央包括支援センター管理者）

→ 本研究会の記録は、所報2019年12月号（第611号）に掲載。
浅野豊「委託型地域包括支援センターの現状と課題―苫小牧市を例に」

【2021年度】

（1） 第6回研究会

- 日 時 2021年9月17日（金）
- 会 場 北海道自治労会館 3F 役員会議室（リモート併用）
- 内 容
・ 報告1「札幌市における在宅介護を取り巻く現状」
報告者：佐々木謙 氏（札幌市社会福祉協議会 南事業所 所長）

- ・ 報告2「コロナ禍での在宅介護ーこの1年を振り返って」
報告者：星野敦子 氏（札幌市社会福祉協議会 総合支援センター
えがお）
- 本研究会の記録は、所報2022年4月号（第639号）に掲載。
 - ・ 佐々木謙「札幌市における在宅介護を取り巻く現状」
 - ・ 星野敦子「コロナ禍での在宅介護ーこの一年間を振り返って」

【2022年度】

（1） 第7回研究会

- 日 時 2022年12月8日（木）
- 会 場 北海道自治労会館 役員会議室
- 内 容 講演「フィンランドにおける保健医療福祉改革（S O T E改革）と
地方自治制度の大規模な再編」
- 講 師 横山純一（北海学園大学名誉教授）

- 本研究会の記録は、所報2023年4月号（第651号）に掲載。
横山純一「フィンランドにおける保健医療福祉改革（S O T E改革）と
地方自治制度の大規模な再編」

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上